

## ■ 9月の新刊案内

### 編集者のための

# デジタル編集術入門

—困ったときに  
すぐ活用できるノウハウ集—

前川 裕子 著

出版の世界に本格的に DTP が取り入れられるようになってすでに 10 年以上となります。

現在では、印刷物がほとんどどこでも DTP で扱われているとともに、一般的なところでもパソコンやデジタル・カメラが普及し、入稿される原稿類がすべてデジタル・データということもめずらしくなってきました。

そういった進化の反面、新しい技術が次々と出てくるたびに新しいファイル形式などが増え、それらをどうやって扱えばいいのか不明な場合も多々あります。

著者から送られてきた原稿の入力、データ化、または原稿データを編集し、まとめて印刷所にデータ入稿をするという流れの中で、その中間に位置する編集者が、どの程度の知識をもって

本書の発行を促した—出版メディアパル No.10

## 編集者のための デジタル編集術入門

—困ったときにすぐ活用できるノウハウ集—

前川 裕子 著



SMP

対応していけばいいのか? 「編集作業に必要なデジタル技術の最低ラインだけでも ...」という意図をもって、本書をまとめてみることにしました。

また、DTP の現場でよく使われる用語をなるべく使い、簡単な解説をつけました。

一番難しい点は、意外にも新しい技術ではなく、以前の技術でしか対応していない印刷所がまだ多く、せっかくデータをまとめて印刷に入れないという場合もあることです。

また、著者によっては、ワープロ専用機や古いパソコンなどによって作られたデータで入稿されてくることもあります。そういった時にどのようにしたらいいのか、最新の技術や知識だ

けでなく、あえて古い技術や知識についても言及しました。

なお、この本で取り扱った技術情報はごく基本的なもので、たいがいの印刷所、出力センターなどで通用することと思われそうですが、場合によっては、違ったハウスルールで動いているところもあることと思います。

もし、よろしければ、そういった情報をお寄せいただければ幸いです。

いつの時代にも臨機応変な対応が求められるのが編集者ですが、そういった場面でもあわてずに対応できるようになりたいものですね。

2008年7月 前川裕子

### <主な目次>

- 第1章 デジタル・データの基礎知識
- 第2章 テキスト・データから DTP へ
- 第3章 画像データを扱う
- 第4章 知っておきたいこと

発行予定：2008年9月中旬  
定価（本体価格 1200 円＋税）

### ◎ 編集室だより

前川裕子さんとの出会いから、もう 20 年になる。1980 年代の半ば、出版の世界では、ワープロの登場、電子編集、DTP、電子出版、CD-ROM とめまぐるしい勢いで、情報のデジタル化が進んだ。

その頃、私は出版労連の産業政策対策部に所属し、「本の学校 = 出版技術講座」を主宰するとともに、技術革新の担当者であった。そんなことから、しばしば「電子出版講座」「DTP 講座」を開催していた。

その「電子出版講座」などで、CD-ROM のデモを実演していただいたのが前川さんである。以来 20 年、デジタル技術の最前線にいた前川さんが、数年前から、初心者のために「デジタル技術ノウハウ集」をまとめたいと構想を練り始めていた。本書はその思いを実現させた『編集者のためのデジタル編集術』である。

出版メディアパル編集長 / 下村昭夫